

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	—	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	—	地方自治の育成に貢献された方や県政の発展に功績のあった方を叙勲・褒章・功労賞等の表彰における内申を国や県に行い、また、市の政治・経済・社会文化等各般にわたり、市政の進展に顕著な功労のあった受賞者に対しその功績を讃え、表彰式典を開催しその栄を浴します。 また、常総市、商工会、JAの3者共催により希望に満ちた新春を祝い、更なる常総市の発展を遂げるため賀詞交歓会の開催ほか、関東豪雨災害、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で合併記念式典10年、15年共に中止となり、合併20年となる令和7年度に合併後初の記念式典を開催することとなり、行政と市民がそれぞれの立場からこれまでの20年の思いを馳せ、共有できる記念式典の開催に向け取り組んでおります。	地方自治や市行政に貢献していただいた方を表彰することにより、市民の方の市行政への関心を深めていただくとともに、市民のための行政であることを職員も改めて認識することで、より良い市政発展に繋げていきます。 また、各々の式典を開催するにあたり、市民や民間企業、議員の方々との交流を深めるとともに、常総市の今後の発展に向け、協力する体制の構築を図ります。
	施策	—		
	施策内容	—		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市表彰条例		
事務事業名		栄典・表彰事務及び式典の開催		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R6予算額	R6決算額
活動名・事業名 （対象年）	R6活動・事業内容	指標（単位）	R6目標値	R7目標値		
			R6実績値	R8目標値		
春秋生存者叙勲褒章内申（R6・7・8）	潜在候補者の中の有資格者を必要書類を揃え 県市町村課を通し国へ内申します。	—	— —	— —	0千円	0千円
死亡叙勲・叙位の内申（R6・7・8）	潜在候補者名簿に登載されている自治関係者が死亡した際に、必要書類を揃え県市町村課を通し国へ内申します。	—	— —	— —	0千円	0千円
高齢者叙勲の内申（R6・7・8）	満88歳に高齢者叙勲の対象となる者の誕生月の4か月前までに内申書を作成し、上申します。	—	— —	— —	0千円	0千円
県・県市長会・その他表彰の推薦・内申（R6・7・8）	県、県市長会、その他団体から表彰者の推薦依頼があった際、各課へ依頼し該当者を精査していただき推薦をしてもらい内申を行います。	推薦者数(人)	6 4	6 6	0千円	0千円
春・秋の潜在候補者の報告（R6・7・8）	5月と10月の2回潜在候補者の調査を行い、表彰該当となった際に漏れのないように県に報告します。	—	— —	— —	0千円	0千円
市政功労者表彰審査会の実施（R6・7・8）	常総市表彰条例に基づき年2回審査会を実施し、表彰者を決定します。	—	— —	— —	0千円	0千円
合併20周年記念式典開催内容の検討（R6・7）	開催内容等、関係各課と共に検討し協議を行います。	—	— —	— —	千円	千円
賀詞交歓会実行委員会を開催（R6・7）	市、JA、商工会の実行委員により開催日、開催内容等決定します。	—	— —	— —	千円	千円
常総市賀詞交歓会の開催（R6・7・8）	実行委員会で決定した招待者と共に、JA・商工会との3者での賀詞交歓会を開催し、新春を慶び、交流を深めます。	参加率(%)	60 35	60 60	120千円	120千円
市政功労者表彰式典の開催（R6・7・8）	表彰審査会で決定した受賞者の表彰式典を開催します。	—	— —	— —	335千円	167千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R6実績値
市推薦による表彰者数	6人	4人
賀詞交歓会参加者率	60%	35%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
各自治体からの推薦枠が決まっている表彰のほか、分野による表彰等では、各課から推薦者を挙げていただいているが、通常業務の中での作業のため、時間をかけて推薦者を選出できない現状もあり、各課へ依頼して待つだけでなく、該当しそうな候補者を担当課と協議するなどしていくことも必要であると考えます。 賀詞交歓会については、招待者の中で出席された方が35%程に留まっており、実行委員会において式典の内容等の協議が引き続き必要と考えます。	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	表彰該当者の漏れがないよう、各課へ依頼し、回答を待つだけでなく、様々な分野から該当になるような候補者を各課と連携を取りながら協議していくことで、表彰される方や団体が増えていくように検討していきます。 また式典の内容等については、参加者が参加したいと思っていただける内容等、引き続き協議を行っていく必要があると考えます。			